

むらやま がかいだより

発行：村山市議会
編集：議会だより編集委員会



新年度予算

195億5千304万円

議会報告会を開催します！

写真：村山市立大久保小学校
お別れある校舎と最後のふれあい

<http://www.city.murayama.lg.jp>

携帯からはコチラ



新年度予算総額195億5千304万円

大久保小学校改築へ 戸沢地域市民センター改築

平

成25年第1回定例会は2月28日から3月19日までの会期で開催

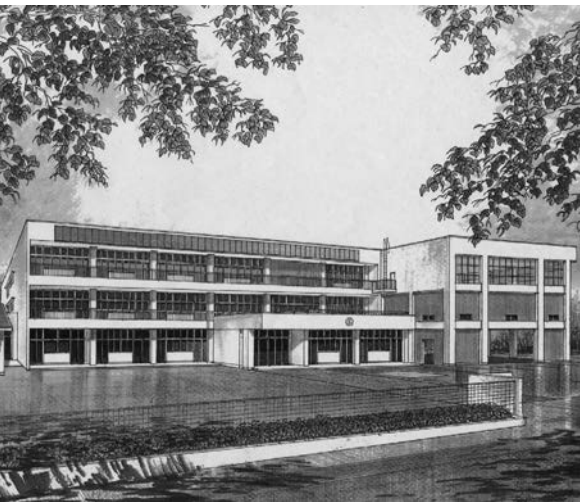
され、新年度予算などを審議しました。このうち一般会計では、大久保小学校改築事業、戸沢地域市民センター整備事業など投資的経費の増などにより対前年比4億5千万円(4.0%)増の117億8千万円となりました。

また、8件の特別会計では、保険給付費や介護利用サービスの増加、東北中央道建設に伴う農業集落排水処理施設の移設などにより、対前年比4億6千793万円(6.4%)増の77億7千304万円となりました。

新年度予算のほか条例の一部改正など19件、補正予算8件が提案され、新年度予算9件は予算特別委員会に付託しました。追加議案として提案された除雪委託料の増などに伴う一般会計補正予算のすべての議案を可決しました。このほか議員発議6件のうち4件を可決し閉会しました。



新年度実現する
主な事業です!!



大久保小学校 (完成予想図)

一般会計補正 総額120億5千万円へ

条例等

○地域主権改革一括法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
法律の施行に伴い、市営住宅管理条例・都市公園条例・下水道条例の条文を整備するもの。

○地域主権改革一括法の施行に伴う新規条例
法律の施行に伴い、指定地域密着型サービスの基本方針を規定し市独自の基準を定めるもの。市道の構造の技術的基準を定めるもの。準用河川に関する施設の構造の技術的基準を定めるもの。

発議

○村山市政務調査費の交付に関する条例等の一部改正(使途の範囲を拡大するもの)

○村山市政務調査費の交付に関する条例等の一部改正(使途範囲は従前通りとする)

○豪雪被害対策にかかると意見書

○TPP交渉参加反対を求める意見書

○生活保護基準引き下げの白紙撤回を求める意見書

請願

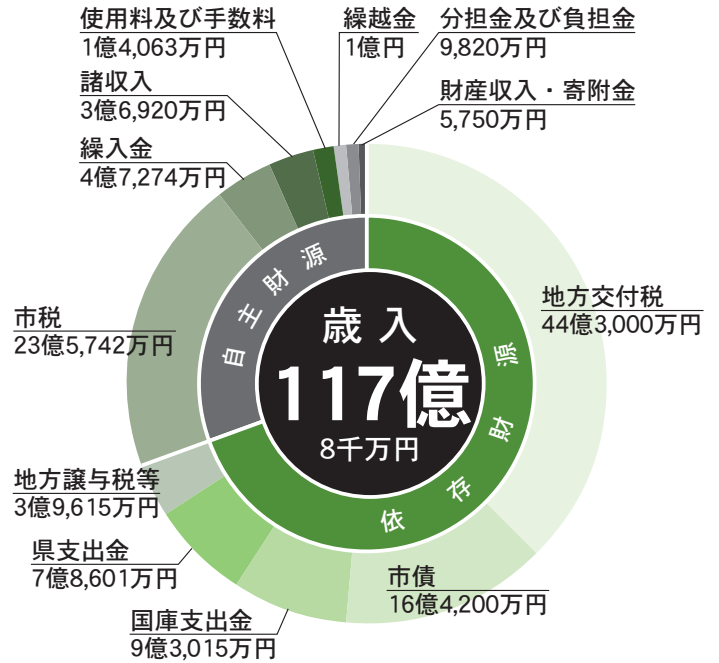
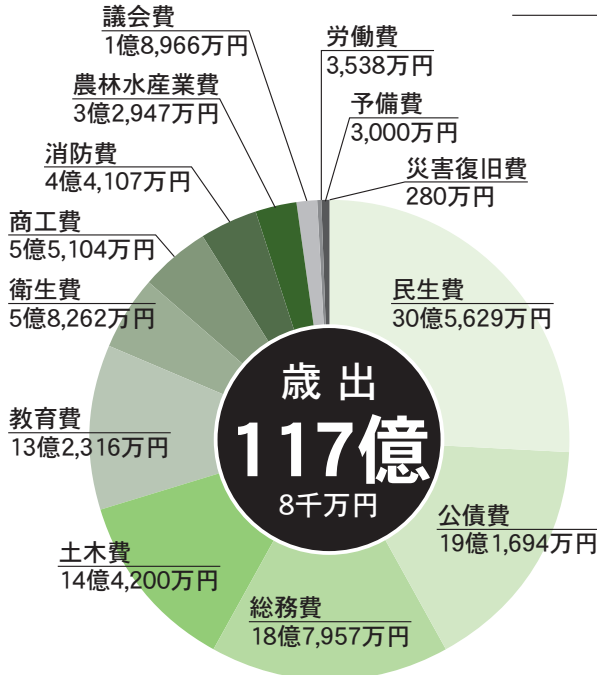
○豪雪被害対策にかかると意見書の提出に関する請願

全会一致で採択

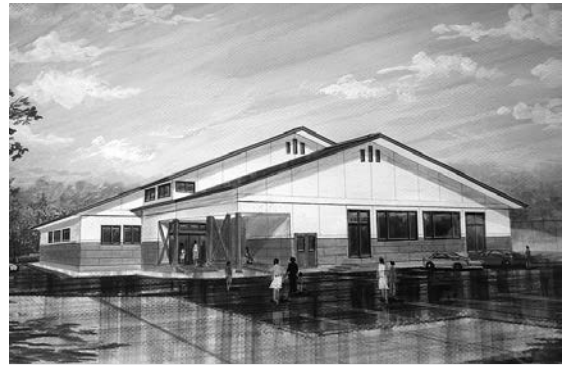
○生活扶助基準の適正化及び基準見直しによる他制度への影響が及ばないよう配慮を求める意見書

○豪雪被害対策にかかると意見書の提出に関する請願
議結果へ
発議の可否はP10の審議結果へ

25年度一般会計 117億8千万円



大高根学童保育所「あじさいっ子クラブ」



戸沢地域市民センター（完成予想図）

新年度の主な事業

○大久保小学校改築事業	5億5,734万円
○戸沢地域市民センター整備事業	1億2,610万円
○光ファイバー網整備事業	1億2,000万円
○クアハウス基点改修事業	1億1,857万円
○村山駅東口駐輪場建設事業	3,000万円
○子育て支援等医療給付事業	7,843万円
○木質バイオマス燃料機器設置事業	50万円
○議会インターネット中継配信等事業	378万円

ポイント!!

大久保小学校と戸沢地域市民センターの改築事業が本格始動します。

未整備だった袖崎・大久保・大高根・戸沢地域への光ファイバー網設備が進みます。

新産業高校の開校に向けて、村山駅東口に新たに駐輪場を整備し利便性の向上を図ります。

子育て医療給付では小学校6年生まで医療費無料が拡大されます。

25年度 予算特別委員会

予算特別委員長 柴田好美

限られた財源を効果的に!!



柴田好美
予算特別委員長

予算特別委員会は、全体会と3つの分科会で慎重に審議を行いました。

審議の要点は

- ① 予算編成にあたっての基本姿勢が前年度決算における審議報告が生かされているか。
- ② 現在の財政状況に合致しているか。
- ③ 真に市民の理解と賛同を得るものになっているか。などの視点で行いました。

難問山積の時代

安倍新政権が発足しましたが、経済再生、震災復興、原発政策の見直し、TPP交渉参加の問題などを解決するのは容易ではありません。先行きについては輸出環境の改善や経済対策、金融対策の効果などで回復へ向かうことが期待されていますが、

予断を許さない状況です。締めくくりの年

平成25年度は村山市第四次総合計画の締めくくりの年でもあります。これまでと同様、集中改革プランを基本に行政改革を推進し、自治体として持続可能な財政運営を保ちながら、大久保小学校改築、戸沢市民センター整備、小学校6年生までの外来医療費無料化延長、光ファイバー網整備など本市の進むべき方向を盛り込んでおり評価いたします。

行政執行に望むことは

しかし、今後とも減少する歳入と、増加する歳出という収支均衡を図れない状況が予想されるので国が進める地方行政に関する制度等の動向を十分注視しながら、適切に補正編成に反映していただくよう要望します。また多様化する市民ニーズに的確に対応していくために、施策の棚卸しなど、歳出全般にわたる見直しを継続して行うとともに、場当たり主義にならず、中長期戦略に裏打ちされた財源の効果的な重点配分に取り組んでいたことを要望します。

生かせ議員の指摘

総務

- 駅東口に駐輪場が増設されるが、駅西地区開発と併せ、総合的な開発計画を策定し、長期計画の中で駐輪場整備を望む。
- 乗り合いタクシーは地

文教厚生

- 北村山公立病院の医師看護師不足で経営が悪化し、市の負担金が増大している。医師確保、医療体制の充実を要望する。
- 消防団員の冬季防寒着、雨具の検討を要望する。

産業建設

- 中山間地では、高齢化後継者不足が進み、耕作放棄地が増えている。国に認識していただき、事業の対応を要望する。
- 着地型観光は村山市らしい資源をいかすため、

域の実情に配慮し本格運行を要望する。

- 職員研修は、幅広く研修ができ、広い視野で役に立つ研修を要望する。
- 光ファイバー網整備は市内全域で完備されるが、市民が利用されるようにPRしてほしい。

- 市内小・中学校へのエアコン設置は年次計画で行うよう要望する。
- 社会教育施設・社会体育施設などの維持管理は、各々施設の指標をもって目的達成すること、また利用者の少ない施設は、今後の運営について検討するよう要望する。

地域の声を聞き全国にPRするよう要望する。

- 徳内シーボルトライン周辺は、魅力を創出できる重要な部分であり、役所全体での検討を望む。
- 環境都市村山として再生可能エネルギー活用PRを要望する。
- 公共下水道施設の長寿

- 地区公民館が「地域市民センター」に変わるが、地域の実情を鑑み、独自性を活かし、地域づくりの拠点として活用されることを要望する。
- 子宮がん検診は20歳以上、その他のがん検診は40歳以上が対象になっているが、今後40歳以下への拡大を要望する。



出発する乗合タクシー

ここが聞きたい！ 一般質問

Q & A

本定例会の一般質問は
3月4日・5日に10人の議員が行いました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ & Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。

A 活性化の即効薬は無
いが平成2年に作ら
れた商店街リニューアル
計画を基に様々な施策を
進めて来ている。また人
材の育成、雇用創出のた
めのセミナーを開催し空
き店舗活用に繋がるよう
に努力している。来年度

Q 大規模小売店舗法の
撤廃以来、中心市街
地の衰退は全国的に構造
的な問題となっている。
平成19年の調査では村山
市の空き店舗率は県内で
も少ない方から三番目だ
が、高齢化が進みゴース
トタウン化は避けられな
い。再生の道は「新しい
血の導入」しかない。新
しい血とは後継者の育成
と、他所からの新規参入
者だ。そのため是非とも
「空き店舗活用条例」
を制定し、様々な業種の
新規参入が出来やすくす
るための補助制度を制定
して欲しい。



空き店舗活用条例の制定を願う

布川 淳一 議員



再開発が望まれる空き店舗

Q 現在「村山市中心市
街地活性化空店舗対
策支援事業費補助金交付
要綱」が存在するが、設
立時期と活用事例を問う。
平成23年9月に制定
した。これまでの使
途は塩竈フェア、夜の甌

は国の補助が無くても村
山市単独で実施する。

Q 要綱の条例への格上
げについては、
具体的な事業を実施
しているのが当面は
要綱で対応する。

葉学校、ドリンクテーリ
ングなどである。要綱は
PR不足なので順次広報
して行く。



人口増加対策を伺う

長南 誠議員



提言が多かった子ども意見発表会

Q 人口増加対策は若者が魅力を感じるまちづくりと考える。若者が住むことで活気・元気が出る。若者は仕事・趣味・遊びが多様化し「出会い」が難儀で、「仲間会」的組織が必要と考える。若者の定住を進めるため、冬季も雪が苦にな

A らない高床式住宅等に助成し定住を図ることで、出生率も上がると考える。市長の所見を伺う。
A 人口減少の歯止めは働く場の確保、若者が住みやすい環境、子育て、教育環境、福祉施設の整備等総合的にやる必要がある。婚活は県も積極的

Q 小中学生、職員の提言発表は志気高揚に繋がる。実施しては。
A 職員の提言、研修は25年から積極的に行いたい。総務省の先進的事例に職員の提言内容が4年連続取り上げられた。更に繋げるようにしたい。
Q 商業・工業の活性化対策について伺う。
A 駅前賑わいづくりは、第5次総合計画策定委員会、審議会を作り、具体的に新年度からスタートする。金谷北部工業団地は、平成29年30年頃分譲を進める。また企業誘致の状況を見ながら、団地の整備は段階的に柔軟な対応を考えている。



楯岡高校跡地と駅西のまちづくり

井澤秋雄議員

Q 新年度は第5次総合計画を策定する年である。これに取り組む喫緊の課題は人口減少対策、雇用対策そして魅力的なまちづくり、特に「街なかの賑わいの創出」と考える。市長の基本的な考え方を聞きたい。
A 人口減少は、なんとかしても歯止めをかけた。地場産業の創出により働く場所を確保したい。企業誘致については社会情勢をみながら対応していきたい。
Q 楯岡高校跡地活用による街づくりも強力に進めるべきと思うが、市長の考え方を聞きたい。
A 中心市街地の活性化のため重要な課題であり総合計画の中心的課題として考えていきたい。
Q 駅西バイパス西側の開発については、高速道路の建設に伴う大規模小売店舗の移転に関連

A して幹線道路が先行して進めているが、開発可能区域を見極め、都市計画上の位置づけを行って街づくりの方向を示し、進めるべきと思うがその考え方について聞きたい。
A 基本的には都市計画手続きを経て進める



槌音響く駅西新開発 (前方 村山駅)

べきと思うが、スピード的な面もあり、商業施設側の提案を受けて、農用地除外の手続きを進め平成27年に店舗開業できるように側面から支援していきたい考えである。



交流人口拡大のための観光戦略を

秋葉新一 議員

Q 平成26年度内で開催される観光誘客事業・山形デスティネーションキャンペーンに対する市の取り組みは。

A 平成25年度は観光客源、体験メニューなど掲載した着地型観光パンフレットの新規発行、ボランティアガイドの募集など。

Q クアハウス基点、葉山など村山の資源を生かし、クアオルト事業「気候性地形療法ウォーキング」、健康と観光を合わせた事業を。

A 設定コースの創設や専任ガイドの養成といったハードルが高く難しい。クアハウス基点の

専任トレーナーを活用した事業、保健課とタイアップした健康増進事業、健康づくりの会員制クラブによる健康づくり事業など実施していく。

Q 広域的な取り組み、村山市をPRするキャラクター「ゆるキャラ」を新たに募集する考えは。

A 「めでためでた♪花のやまがた観光圏推進協議会」などに加盟、各市町と連携、観光客の長期滞在をはかっている。

Q 婦人消防クラブ、婦人会など高齢化、社会情勢の変化により組織活動、運営に問題は。

A 「まちづくり協議会」の地域コミュニティ活動の中で大切な役割を果たしている。災害時における活動も重要性をましている。意見を尊重し、対応していく。



早春の村山市（最上川と葉山）



間伐材の有効利用で林業振興を

佐藤敏彦 議員

Q 林業の振興について、①現在の間伐材の処理状況は、②新年度の新たな間伐材の活用事業の方針、事業内容、今後のすすめる方策はどのように計画しているか。

A ①市有林の間伐は、平成22年度は22ha、23年度は16ha切り捨て間伐している。その他民有林等を含む全体では、平成22年度は196ha、23年度は132ha間伐している。

②間伐材を本市のバイオマス発電所の燃料に活用を検討するため、本年度実証実験として、市有林の間伐材を活用するものだ。さらに、沿線にある私有林も対象に広げたいと考えている。

Q スポーツの振興について、①アスリートスポーツの現場、中学校高校の部活動における指導者の体罰が大きな社会問題となっているが、本

市の現状、対応はどのようにしているか。②クラブの指導体制、指導方法は満たされているか。

A ①一部の保護者から部活動の指導が厳しすぎるのではないかと、いう申し出があったが、体罰はないものと捉えている。

る。②中学校の部活動については、各部に1〜2名顧問を配置し、その他外部指導者も委嘱して指導に当たっている。指導者のレベルアップの講習などはしていないが、保護者との連携を取って進めている。



新年度から始まる市有林の間伐材活用



楯岡小学校 安心安全な通学路確保は

大山正弘 議員



安全・安心な通学路とは

下校は、登校の逆順とする。下校は学年によって時間帯が違うので登校時より混雑はないので楯小前を乗車地に運行する方向で最終調整を行っている。

Q 将来の楯小通り消雪施設の考え方は

A 井戸の能力が低下し消雪に十分な水量が得られない時は、新規井戸を掘らず機械除雪に移行していく方針である。地下水汲み上げによる地盤沈下と多額の費用が必要。

Q 通称楯岡東根温泉線大手スーパード東側渋田地区都市計画はあるか

A 開発優良区域、農振除外なども考慮し、長期的視点で、約12ha農地を、今後第5次総合計画に民間開発なども含めた開発可能地域と位置付けた事業計画を検討していく。



空き家の現状と今後の対応は

海老名幸司 議員

Q 空き家は崩壊や落雪などの危険性があるだけでなく、住民に不安や寂しさなど心理的負担も与えている。そこで、空き家の現状と今後の対応について聞きたい。

A 07年度の調査で市内の空き家軒数は297だった。本年度も相談件数だけで13件あり、新年度に実態調査、台帳整備を行い、その後に状況を見ながら必要があれば条例制定を検討していきたい。

Q 子育て支援医療無料化事業は、子育てに関する医療費の経済的負担を無くすことで喜ばれている。反面において、コンビニ受診による医療費の増大や、市町村を単位として行われている事業であるが故に財政力などによって自治体間に格差があることや、さらには何ととってもこの制度を推進することにより、



乳幼児検診の様子

本来国保会計に入るべき国庫補助金が削減され、そのことが最終的には徴収額が限界にきているといわれる国民健康保険税のさらなる増税を導くのではないかとということが指摘されている。そこでこうした一種の社会保障

制度は国の責任、負担で全国一律に推進してもらうように運動していくべきではないか。

A まずは県内で統一基準の下に推進できるように県に働きかけていきたいと考えている。

Q 楯小、大倉小との統合に伴う児童たちのバス停位置、消雪道路は

A 通称楯小通りの消雪道路は平成25年1月7日から消雪施設故障により約500mが使用不能になり今後は消雪を廃止し機械除雪を行う。他の通学路と同様、通学に支障

がないよう十分配慮する。道幅が狭くなりしだい搬雪作業を実施し道幅を確保する。登校は切通しバス停で下車し、楯小まで市道を徒歩で通学する。理由は市道が徒歩通学児童で混雑するため、冬季路線バス通している北町の児童の実績を元にした。



定住促進のために 薪ストーブへの補助を

長谷川 元 議員

Q 第5次総合計画の策
定委員会のメンバー

は各組織の代表などとい
うことだが年代構成につ
いてはどう考えるか。若
年層の意見を取り込むた
めに配慮すべきでは。

Q 市単独でのペレット
及び薪ストーブへの

設置助成が行われるよう
だが、定住促進に資する
助成制度は1ヶ所で見
ることができるようコー
ナーを設置すべきと考
える。又ホームページで
情報を一括掲載するなど



今年度から実施される薪ストーブ設置助成

A 今後検討していく。

Q 広く市民から意見を
聞くというが、現在

市で行っているパブリッ
クコメントへの意見はほ
とんどない状況。ホーム
ページの活用や、SNS
などの利用をしていくべ
きだと前から提案してい
るが未だに実行されてい
ない。誰も読まない総合
計画などを作るよりも、
マンガや読み物として皆
が読むようなものにして
いく工夫が必要なのは
ないか。

A 読んでいたいただくため
に今までダイジェス
ト版などを作ってきた。
地域の市長室などで様々
な意見を聞いている。



豪雪による雪害対策の充実を

川田 律子 議員

Q 豪雪地帯の村山市に
おいて、市民の切実

な要求に沿った施策の充
実を図るべきでは。
①農道除雪の受益者負担
の考え方は。②消防署中
心だけでなく各地域毎の
積雪の計測をすべきでは。
③福祉灯油券の実状に沿
った増額を。④除雪費支
給を昨年並みにすべきと
考えるが。

Q 市道や県道の側帯の
草刈りや側溝の泥上

ていきたい。③数年前か
ら福祉灯油券として継続
してきた。これまで通り
3千円で理解してほしい。
④豪雪対策連絡会議設置
後、3万円から5万円に
上乗せしたことを理解し
てもらいたい。

げなど住民と行政の協働
の考え方は。

A 道路の維持管理につ
いては、本来は市が
やるべきだが現状では困
難。各々の事案に合った
対応を地域と分担しなが
らやっていきたい。

A ①これまでの対処療
法から予防に力を入
れ、スノーモービルやト
ラクターで複数回行って
いる農家の方を支援対象
として7割を補助。枝線
を対象とし受益者が限定
するため3割の受益者負
担有りを説明し、樹園地
の大久保、戸沢、西郷で
26路線を実施。市と農家
で効率的に事業をすすめ
たい。②新年度以降、各
市民センターの地域専門
員と協議しながら、あく
までも目安として計測し



雪どけを待つ農道（中原地区内）



文科省が体罰を助長してきたのでは

中里芳之議員



北村山公立病院 会計窓口

Q ①体罰は完全に否定されるべきものではないか。②完全否定されているはずの体罰が、なぜ根絶されないのか。

A ①体罰はいかなる場合や理由においても決して許されない。②指導力不足のために手を上げてしまうのではないか。

Q 07年2月、第一次安倍内閣の教育再生会議の意を受けて文科省は、「有形力(≒体罰)の行使」を認め体罰禁止を骨抜きにする通知をした。これによって体罰禁止が曖昧になり、ある程度の体罰は許されるという雰囲気

Q ①生活保護基準の引き下げの影響で、就学援助受給世帯が認定から外れたり、支給額が減らされることがないようにするべきだ。②「特に援助を必要と認める者」の基準と収入の目安を具体的に知らせるべきだ。

A ①できるだけ困らないよう配慮していく必要がある。②これから精査していく必要がある。

Q 医療費窓口減免の実績がないのは明らかに周知不足。医療機関との連携強化でさらに周知を。

A 病院などが情報提供できるように周知する。

Q 通知のような、こういう場合は認められるとかではなく、体罰は絶対に認められないと指導してきた。今後も同じように指導していく。

A 通知のような、こういう場合は認められるとかではなく、体罰は絶対に認められないと指導してきた。今後も同じように指導していく。

第1回市議会定例会での審議結果 (賛否の分かれた議案について記載しました)

議員名	議決結果	新市政クラブ								青風会		日本共産党 村山市議団		無会派			賛	反				
		井澤秋雄	長谷川元	長南誠	鈴木健治	大山正弘	秋葉新一	柴田好美	茨木久彌	海老名幸司	佐藤敏彦	布川淳一	佐藤昌昭	川田律子	中里芳之	森一弘			須藤和幸	能登淳一		
議案等の名称																						
議員提出議案	発議1号	村山市政務調査費の交付に関する条例等の一部を改正する条例(2ページ参照)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2	
	発議2号	村山市政務調査費の交付に関する条例等の一部を改正する条例(2ページ参照)	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	議	2	14			
	発議4号	TPP交渉参加反対を求める意見書	可	○	退	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議	14	1		
	発議5号	生活保護基準引き下げの白紙撤回を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	議	2	14			
	発議6号	生活扶助基準の適正化及び基準見直しによる他制度への影響が及ばないように配慮を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	議	10	6		

※議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません

○=可決 ⊗=否決 ⊙=賛成 ⊗=反対 ⊖=欠席 ⊘=退席

総合福祉支援センター「第一事業所」 オープン!!

障がい福祉サービス拡大

多機能型事業所わっしょい!

- 就労継続支援B型
- 生活介護

放課後デイサービスたいよう



就労者が使う「名入れタオル」用の機械

相談支援
事業所

○生活介護
日常生活で介護が必要とされる障がい者の方に、食事や排せつの介護を行うとともに、創作的活動や生産活動の機会を提供します。

○就労継続支援B型
一般企業等では就労が困難な障がい者に対し、働く場を提供し、知識や能力向上のための訓練をします。

○放課後等デイサービス
「たいよう」は、障がいを持っていてる高等部の生徒が、支援校の放課後に日常生活や集団生活の訓練を行う場所です。

文教厚生常任 委員も出席

4月2日に総合福祉センター「第一事業所」(旧村山保健所)がオープンしました。

4月から児童生徒の増加で楯岡特別支援学校となり、以前から障がい者の就労先が望まれていたことを受け、村山市が進めていたもので、施設の開所となったものです。開所式には佐々木村山総合支庁長、佐藤村山市長、能登議長、児玉県議はじめ多くのご来賓が出席しました。

施設の運営は村山市社会福祉協議会が行います。

産業建設常任委員会 企業視察

1月28日に市内企業2社の企業訪問をしました。初めに(株)蔵王米菓を見学しましたが、一般の人は受け入れ不可の所を快く迎えてくれました。製造品目の85%が大手製菓メーカーブランドで、高い収益率を誇ります。次に(株)共栄メカを視察。重機関連の油圧バルブを主に製造し、少量多品種オーダーメイドでの仕事は不景気の年ほど忙しいとのことでした。



クリーンスーツで工場内へ
(蔵王米菓にて)

産業建設常任委員会 管内視察

2月14日、産業建設常任委員会は市内各地の積雪および除雪状況を視察しました。

- ①園芸試験場跡地雪捨場
- ②楯岡楯消雪切換路線
- ③金谷運動広場
- ④土生田地内雪捨場
- ⑤富並外宿消雪切換路線

関西村山会

第6回関西村山会総会が、2月24日大阪市で開催されました。

村山市側からは、大場副市長、須藤副議長、古沢市観光物産協会副会長が出席、関西村山会からは小川会長始め多数参加しました。総会では、小川会長が「村山の風土や温かさは心地よい。総会は最近の古里を知るいい機会」とあいさつ。地酒や芋煮などの古里の味が振る舞われ、最後は全員で花笠踊りで古里を懐かしみました。

河北町議会と

1月25日、河北町議会と村山市議会は議員懇談会を開催しました。

当日は、真下慶治記念美術館、そして甌葉プラザを視察した後、河北町で今年4月に開園予定の認定こども園「かほくあいこども園」についての概要と運営方針について報告を受け、その後、村山市議会で取り組んできた飲酒運転等交通三悪の追放にむけた条例化の取り組みについて報告し交流を深めました。



- ⑥大槇驚滝地内
- ⑦基点イベント広場
- ⑧河島山ニユータウンなどを視察しました。

市民の声



袖崎雪室研究会

赤塚 信一 さん (袖崎)

袖 崎雪室研究会は平成5年に発足、その後NPO法人化し活動しています。

平成9年に、玄米貯蔵としては日本最初の冷氣循環型雪室が赤石に完成しました。この方式は、カビ対策として室蘭工大の媚山教授が研究開発したものです。当研究会も手づくりの雪室で、粳の乾燥

試験等をお手伝いしました。

この方式は、現在、米を貯蔵する雪室の主流となっています。

平成14年1月に「雪氷熱」がエネルギーの仲間に入り、再生可能エネルギーの一翼を担うものとして注目を集めております。現在雪室施設は、農産物の冷温貯蔵や雪冷房等で全国で144ヶ所の施設が稼働しています。



雪室への雪つめの様子



雪室への雪つめの様子

第1回 議会だよりクイズ

今年度から、村山市に関するクイズを掲載してまいります。皆さんふるってご応募ください。

- Q1：村山市の「市の花」はなんですか？
- Q2：今年度から桶岡小学校と一緒にになった小学校はどこの小学校だったかな？
- Q3：村山市の今年度当初予算の総額は億単位でいくらかでしょう。(特別会計も含まれます。)
- 次の中から番号でお答えください。

- ①195億円 ②186億円
③184億円 ④174億円

応募方法

- クイズの答え、住所・氏名、年齢をお書きのうえ、郵便はがきでご応募ください。
- 正解者の中から抽選で3名の方に粗品を差し上げます。(当選者の発表は、次号に掲載いたします。)
- 締め切り 平成25年5月31日(当日消印有効)
あて先 〒995-8666 村山市中央1-3-6
村山市議会事務局

議会報告会のご案内

3月定例会を終えての議会報告会を開催いたします。

全議員が2班に分かれて、下記のとおり開きます。ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

- ◎ 4月25日(木) 午後7時
場所 ・戸沢(土海在家自治公民館)
・大倉地域市民センター
- ◎ 4月26日(金) 午後7時
場所 ・袖崎地域市民センター
・大高根地域市民センター



右の写真は、現在の大久保小学校校舎。校舎のお別れ会の際に撮影しました。子供達と先生が心をこめて床磨きをしている姿が目につかびます。子供達の笑い声が聞こえてきそうな校舎ともお別れです。

《議会だより編集委員会》

委員長 須藤 和幸
副委員長 井澤 秋雄

川田 律子・秋葉 新一
布川 淳一・長谷川 元
元 誠